

令和7年度
事業計画書

居宅介護支援事業所

大津みやび野ホーム居宅介護支援事業所

1. 事業の内容

事業の指定	居宅介護支援事業所
事業の名称	大津みやび野ホーム居宅介護支援事業所
指定番号	2874007582
施設の所在地	〒671-1146 姫路市大津区大津町一丁目 31-111 TEL 079-236-8180 FAX 079-236-3180
事業開始	平成26年4月1日
管理者	管理者 矢内ゆり
通常の実施地域	姫路市・太子町
営業日	月曜日～土曜日（日曜・祝日・12/29～1/3は定休日） （業務日外の電話相談については、転送電話にて対応する）
営業時間	9:00～17:45 （業務時間外の電話相談については、転送電話にて対応する）

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	利用者が自宅で家族の介護などを受けながら自立した生活を送れるように行政や医療機関・居宅サービス事業者・地域包括支援センター・地域の社会資源の活用も含めた居宅サービス計画書の作成や相談業務を行うなど専門職として、専門性の高い支援が実施できる体制を図る。
理 由	利用者個々の心身状態や家族の介護力など家庭環境に応じて、それぞれが目指す自立した生活が継続できるよう、利用者及び家族からの生活に関する希望やニーズ、意向に基づき、柔軟性のあるケアマネジメントや相談支援が行える介護支援専門員になりたいため。
具体的対応策	1. 事業所内部、外部の研修に積極的に参加し、個々の介護支援専門員のケアマネジメント力の向上と事業所全体のサービス水準の向上に努める。 2. 行政や医療機関、居宅サービス事業所などと協力しつつ、地域での協力者など社会資源を確保し、地域福祉をすすめるため、地域包括支援センターが主催する研修会に参加する。 3. 感染症・災害など非常事態に備えた体制の構築を行い、発生時に迅速な対応ができるよう研修と訓練を実施するとともに、利用者や家族への啓発活動に取り組む。

3. 職員配置

円滑なケアマネジメント業務を行うために次の人員を配置する。

職 種	常勤	フルパート		パート		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算
主任介護支援専門員 (管 理 者 兼 務)	4			1	0.8	5	4.8
介護支援専門員							
合 計	4			1	0.8	5	4.8

4. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4 月	倫理及び法令遵守、 個人情報保護に関する研修 人権意識〔身体拘束〕について	全職員	理事長・施設長・事務長 身体拘束虐待防止委員会
9 月	B C P 訓練について	全職員	大津みやび野エリア (特養、デイ、居宅、包括)
10 月	リスクマネジメントについて (リスク意識)	全職員	リスク管理委員会
11 月	感染症について (ノロ、インフルエンザ)	全職員	感染委員会
2 月	介護保険制度について	全職員	施設長
	高齢者虐待防止研修	全職員	大津みやび野エリア (特養、デイ、居宅、包括)
3 月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会
毎月	ケアマネジメント研修 事例検討	居宅介護支援専門員	居宅介護支援専門員

- ※ 新任職員入職時には、理念、法令遵守、リスクマネジメント、感染症予防対策、各専門職種からの留意事項などの研修を行う。
- ※ 新任職員は、やながせ福祉会で行う合同新任職員研修に参加する。
- ※ 特別養護老人ホームの施設内研修に参加する。

5. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、事業所としての水準の底上げを図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
法人全体	・「持ち込まない」「広めない」「持ち帰らない」感染症対策について	感染症対策研修
法人全体	・大雨、洪水、高潮など自然災害時の対応について	災害対策研修
法人全体	・人権意識、倫理観について	人権擁護研修
法人全体	・福祉、介護の専門職として、持つべきマナーなどについて	接遇研修
法人全体	・健康管理について	産業医研修
管理者	・衛生管理について	人事・労務管理研修
中堅職員研	・リーダーの役割、業務改善、課題達成提案、コーチングについて	マネジメントリーダー研修